



西田スポーツ広場の代替地を！

戸塚正人(まちだ市民クラブ)

西田スポーツ広場の調節池整備計画について、計画を進めるだけではなく、しっかりと代替地についてもあらゆる手段を使い、探すべきだ。

文化スポーツ振興部長

工事中期間中使えなくなるスポーツ利用の団体の方々については、改めて事情を聞きながら、いろいろなどころへ紹介していくことはしたいと思っています。代替地は議員もご存じ



西田スポーツ広場



忠生地域の健康づくりの場を！

川畑一隆(公明党)

地域の健康づくりの場等の機能を持つ温浴施設の早期実現を求める。取り組みを示せ。

高橋副市長

健康づくりは、重要課題である。市政60周年に「健

本会議の質疑から

本定例会では、条例・その他、予算について各会派の代表質疑を行いました。代表質疑及び個人質疑は一括して各会派の持ち時間内で行い、大会派順に発言をします。持ち時間は各会派の人数等によって決まり、各会派の持ち時間及び発言順序は左記のとおりです。

1	自由民主党	90分
2	まちだ市民クラブ	75分
3	公明党	60分
4	日本共産党	55分
5	保守連合	50分

自由民主党
若林章喜

問 社会保障関係経費の大幅な増と税収の減という構造的収支不足が予測される社会情勢を踏まえ、今後の財政運営を問う。

市長

新たな公共サービスのあり方を模索しながら、未来への投資と財政健全化の2つのテーマを両立させる町田モデルを構築していきたい。

問

多摩都市モノレールと小田急多摩線延伸について問う。

市長

モノレールの導入予定空間となる道路は15年度から2力年で測量、設計を行い、17年度の都市計画決定を目指します。また、延伸に向けた新駅周辺の町づくりは、課題である交通や生活の利便性向上に加え、地域資源である緑との調和や積極的な活用の視点が重要と考えます。

問

南町田駅周辺のまちづくりについて問う。

市長

交通基盤、商業施設、公園広場といった施設を時期を合わせて整備することで、市の南の玄関口としての魅力を飛躍的に向上させ、にぎわいと交流を活性化させる相乗的な効果を狙っています。

問

これからの地域社会づくりに関して問う。

まちだ市民クラブ
戸塚正人

問 社会保障関係費の大幅な増加と人口減少化、少子高齢化の影響による減収により、厳しい財政状況を踏まえ、こうした構造的収支不足からの脱却を具体的に市長はどう進めるのか。

市長

事業の効率性の追求、あるいは事業別財務諸表を用いた費用対効果の検証や経年比較によって明らかにした課題解決などを通して根本的に行政サービスの見直しが必要であると考えています。

問

人口減少を軽減する策として、若い世代を呼び込むべきと考えるが、その対策と特にバスターミナルを含め町田駅北口周辺のまちづくりの考え方は。

都市づくり部長

職住近接がなければ、なかなか若い人に住んでいただけないことを意識すると、理想的には職住近接が難しいとしても、少なくとも都内へ通って通勤時間の負担が短くなることによつて、男性の家事への参加、女性も働きに行った人が通勤にかかる時間を減らせる、それを念頭に考えていくべきだと思っています。

問

「南町田駅周辺整備事業計画」の策定について、地域住民の意見をどの様に考えているのか。また、その意見をどの様に反映させるのか。

市長

特に公園の部分と外周道路の一部、通称けやき通り、この2点についてはかなり意見をいただいています。地元の方々と話し合いをさせていただいて、東急電鉄のこともありますが、一方的なスタンダードをつくっていく気概で取り組んでいきます。

公明党
おく栄一

問 社会保障関係経費の大幅な増加と税収の減収といった構造的収支不足を踏まえ、マイナスイノベーションによる新年度予算執行の課題はなにか。市民への影響はどうか。

市長

市民の皆様が安心して市民生活を送れるよう、事業の早期執行が重要であるというふうに考えております。市民の負担感が増すというような見直しではございません。

問

介護保険料も改定が見込まれ、所得段階が9段階から12段階へと低所得者への配慮も怠らないとしても高齢者の生活はどう変化するのか。

市長

介護保険料は、月額基準額で全国平均が5500円に上昇する中、介護給付準備基金の活用、そして負担段階の見直しにより5390円に抑制をすることができました。高齢者支援センターの機能の充実、認知症早期診断、早期対応の支援、在宅介護を支える介護保険サービスの整備、促進などに重点的に取り組み、高齢者が住みなれた地域で安心して生活できる環境づくりを進めてまいります。

問

来年の12月には、重度障がい者(児)の方々にとって待ちに待った施設となる訳だが、市はどのように関わっていくのか。

市長

施設の運営は、医療的ケアを必要とする重度障がい者の対応に知識と経験の豊富な社会福祉法人ボワ・すみれ福祉会が行う予定となっております。開設後の状況や今後の市民ニーズを捉えながら、施設整備については、拡充も含め、引き続き検討していきたいと考えております。

日本共産党
池川友一

問 都市間競争に勝ち抜くための建設ありきの文化芸術ホールはやるべき。市長の基本認識を問う。

市長

町づくりの視点、地域経済への波及効果、文化芸術振興など、さまざまな視点からホールのあり方を考えて、最終的にはこの町の価値を高めるという意味で、評価をしてもらえるホールでなければならぬと改めて強く認識したところであります。

問

学校教育予算に対する市長の基本的な考えを問う。

市長

首長の役割は、教育環境の整備に万全を尽くすということであり、このため学校の予算につきましても未来をつくるべく子どもたちのために、教育環境の充実・整備を進めることを念頭に予算の編成をしております。

問

小・中学校への備品・消耗品は前年比1億1千万円以上(25%)の削減である。学校運営に支障はないのか。

学校教育部長

学校からのさまざまな予算要望は当然ながら、それを全部予算化することは到底できませんが、よく在庫の確認をしていたり、それを修繕をかけたいたたり、いろいろなことで教育委員会と調整をして支障のないようにやっています。

問

小・中学校集団宿泊行事補助金の変更点は何か。

保守連合
新井克尚

問 昨年度と比較し民生費の構成比率が増えた理由は。市長 子ども・子育て支援新制度の創設により、約17億円増加し、この制度改正の影響を大きく受けております。

問

今後どのような形で推移すると想定しているか。

市長

10年後には約6割近くは民生費になると予測がされるのであります。

問

経費削減の取組みは既にやりつくしており、低所得者に配慮しつつも適正な負担、相互扶助という観点から市民負担の増加も必要となるか。

財務部長

低所得者などに配慮しつつも、市民負担の増加も必要と感じています。

問

市民意識調査の生活の不満な点1位は治安が悪いというもののだが、対応は。

市長

刑法犯認知件数は大きく減少できましたが、今後も町田市安全安心まちづくり推進計画に掲げた目標達成に向けて取り組みを進めていきたいと考えております。